

Being the Pioneer of the Medical Front for TOHOKU

東北医科薬科大学病院 専門研修プログラム

—専攻医 募集案内—



ACCESS MAP



- 仙石線** 「JR仙台駅」から石巻方面下り電車で乗車(約16分)し、「陸前高砂駅」にて下車、徒歩約7分
- 宮城交通バス** 「仙台港フェリーターミナル行(アウトレット、夢メッセみやぎ経由)」に乗車し、「陸前高砂駅前」にて下車、徒歩約7分
- 仙台市営バス** 「高砂市営住宅西行」に乗車し、「陸前高砂駅前」にて下車、徒歩約7分
「蒲生(中野新町)行」に乗車し、「東北医科薬科大学病院入口」にて下車、徒歩約3分
- 車** 仙台東部道路「仙台港IC」より約5分

お問い合わせ

東北医科薬科大学病院
卒後研修支援センター

TEL:022-259-1221(内線1478)

E-mail:kenshu-shien@tohoku-mpu.ac.jp

<https://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp/resident/>

2026.6



東北医科薬科大学病院
TOHOKU MEDICAL AND PHARMACEUTICAL UNIVERSITY HOSPITAL

当院の専門研修について

東北医科薬科大学病院では、東北医科薬科大学若林病院、医学部地域医療教育サテライトセンターと連携し、人的ネットワークの構築や学生、研修医教育に取り組んでいます。

質の高い専門医の育成には、最新の機器や技術を駆使した

より高度な診療経験から、地域医療における診療経験まで、幅広い研修が必須です。

当院では、common diseaseから専門疾患まで偏らない豊富な症例を経験でき、連携施設も多様です。

当院の専門研修プログラムを通して、全人的な診療ができる

知識・態度・技能を備えた専門医を育成します。

教育熱心な
専門医が
直接指導

アカデミックな
指導

地域医療
ネットワーク

個人の
キャリアプランを
サポート

地域に密着した
大学病院

オープンな
研修環境

多職種との協働



耳鼻咽喉科専攻医

田口 健太
Renta Taguchi

東北医科薬科大学卒

私は東北医科薬科大学卒業後、そのまま当院で初期研修を行い、現在も当院で耳鼻咽喉科研修プログラムに沿って勤務しています。当科では外来や病棟業務に加えて、扁桃摘出術、アデノイド切除術、リンパ節生検などの手術の執刀や、耳科・鼻科領域の手術や、耳下腺・甲状腺などの頭頸部外科手術まで、幅広い症例を経験することができます。

また、学会発表や論文作成などの学術活動にも力を入れており、専門医としての成長を多方面から支えてくださる環境です。

耳鼻咽喉科に少しでも興味を持っている方は、ぜひ一度当院に見学にお越しください。耳鼻咽喉科を目指す皆さんとともに働けることを心より楽しみにしております。

専攻医メッセージ



外科専攻医
(ホスト科：心臓血管外科)

海賀 俊征
Toshiguki Kaiga

東北医科薬科大学卒

大学卒業後は一度母校を離れ、岩手県の市中病院で初期研修をしていました。2024年の4月より心臓血管外科教室の一員となり、当院の外科研修プログラムで現在修練中です。心臓血管外科では日常の診療業務、術後のICU管理、ペースメーカの電池交換などの手術の執刀を行っています。何もできないことに落ち込むことはありますが、川本教授をはじめ、在学時より変わらない諸先生方に支えられて日々奮闘する毎日です。

当院は大学病院としての歴史は浅く、前身の市中病院だった頃の色もまだまだ残っています。外科では虫垂切除術や胆嚢摘出術も多く、若手に執刀機会が多くあるのも他の大学病院と異なる点だと思います。外科医としてキャリアをたくさん積みたいと考えている方には最高の環境だと思います。

今後卒業生として当院の発展に寄与できるよう精進していくと同時に、志を同じくする先生方と一緒にお仕事ができることを楽しみにしています。

内科専攻医
(ホスト科：糖尿病代謝・内分泌内科)

馬場 晴子 Haruko Baba 東北医科薬科大学卒

初期研修は市中病院で行い、2025年4月から当院の内科専門研修プログラムに進みました。当院は2016年に大学病院へ移行した比較的新しい病院で、専門性の高い医療と地域に根ざした医療の両方を学べる点が魅力です。

私が所属する糖尿病代謝・内分泌内科は、糖尿病や甲状腺、副腎、下垂体など多彩な疾患に対応しており、内科的思考力を活かした診断の面白さを実感できます。急性期から慢性期まで幅広く経験でき、患者さんと長期的に関われる点にも大きなやりがいを感じています。医局の雰囲気も良く、指導体制も丁寧で、日々の学びが前向きに続けられる環境です。興味のある方は、ぜひ一度見学に来てみてください。



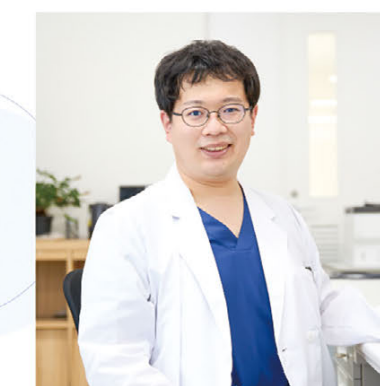
内科専攻医
(ホスト科：消化器内科)

瓜田 愛里
Eri Urita

東北医科薬科大学卒

私は当院で初期研修後、そのまま内科専門研修プログラムで研修を行っています。当院での初期研修を選んだ理由は、それぞれの診療科でcommon diseaseから専門的な症例まで多くの疾患に携わることができること、2.5次救急でしっかりと救急対応を学ぶことができるからです。私は消化器内科に所属しており、入局したばかりですが、すでに様々な手技を経験させていただいております。

私は、研修医2年目で子供を出産し、当院の保育園に預けながら何とか研修を2年間で修了し、そのまま専門研修プログラムに入ることができました。現在も当直や夜間当番などを免除していただきながら、専門的な知識や手技を学ぶことができるように配慮していただき、楽しく働くことができています。



総合診療専攻医

酒井 雄太
Yuta Sakai

東北医科薬科大学卒

大学から初期研修、当院総合診療専門研修プログラムと大学からそのまま当院に所属しています。将来の地域医療での活躍を目指しながら、研修に励んでおります。

当院の研修ではプライマリな疾患から希少な疾患まで幅広く経験することができるため、地域医療へ向けた準備をするために恵まれた環境だと思います。当院総合診療科の研修では複雑な病態の患者様の診断や治療方針等についてしっかりと考えながら診療できるため、臨床に対する考え方をより深めることができます。振り返りの会なども設けていただき、研修を修了するためにはどうすればいいかなど一緒に考えていただいているため、相談できる場面も多いです。

指導医の先生方には仕事だけでなく私生活面も尊重していただけるので、ゆとりを持った働き方ができると思います。

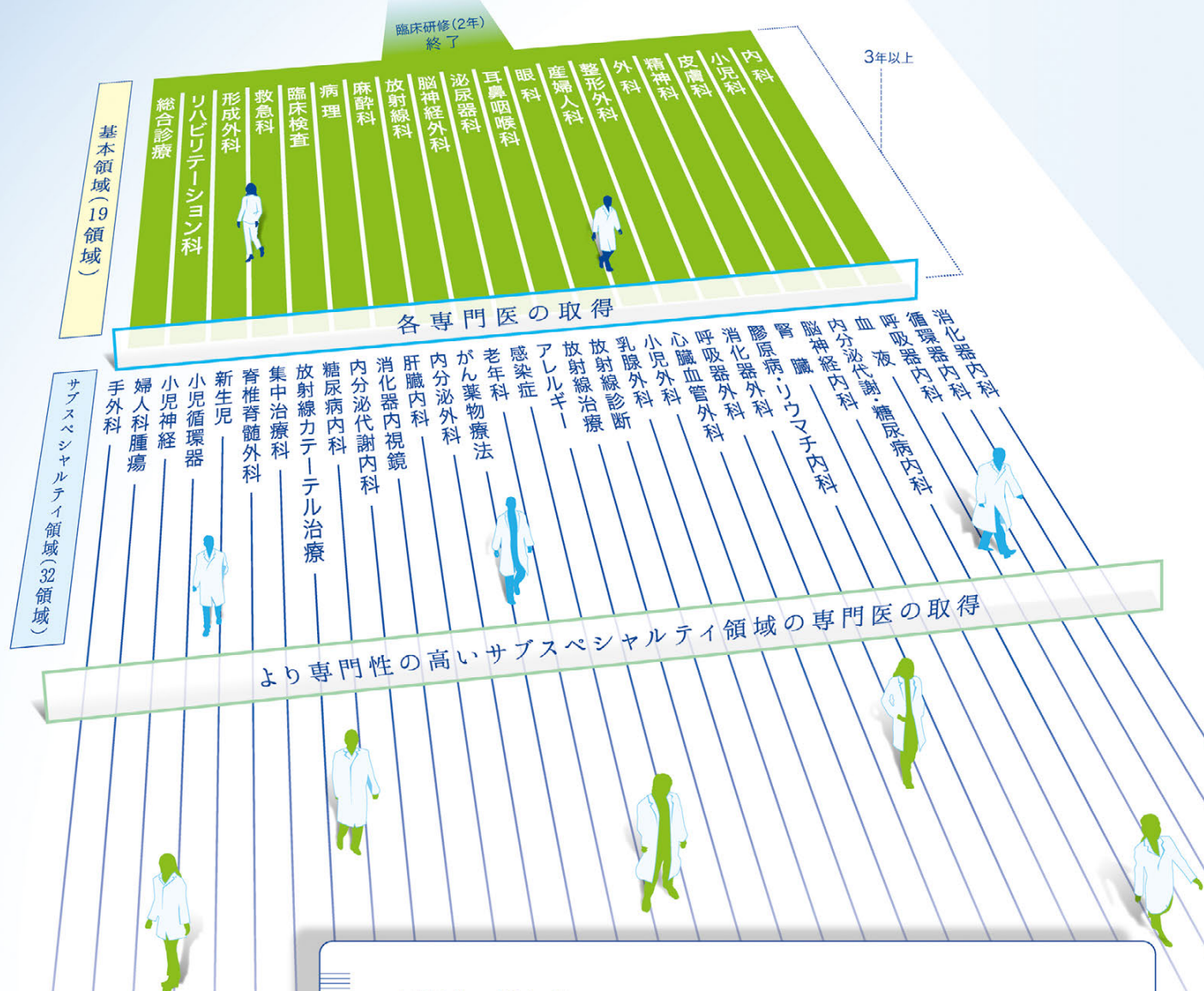
共に研修できる仲間が増えることを楽しみにしています。

新専門医制度について

基本領域とサブスペシャリティ領域

これまでの専門医制度は、各学会が独自に運営しており、認定基準が統一されておらず、「専門」の質にばらつきがあることなど問題点が指摘されてきました。新専門医制度では、様々な領域における専門医の質を標準化するために、第三者機関である「日本専門医機構」が専門医の認定と養成プログラムの評価・認定を統一的に行います。

新専門医制度では、「基本領域」、「サブスペシャルティ領域」の2段階制とし、臨床研修を修了した医師は、3年以上の研修で**基本19領域いずれかの専門医資格**を取得し、その後、更なる専門性（サブスペシャルティ）を身につけます。



新制度の対象者

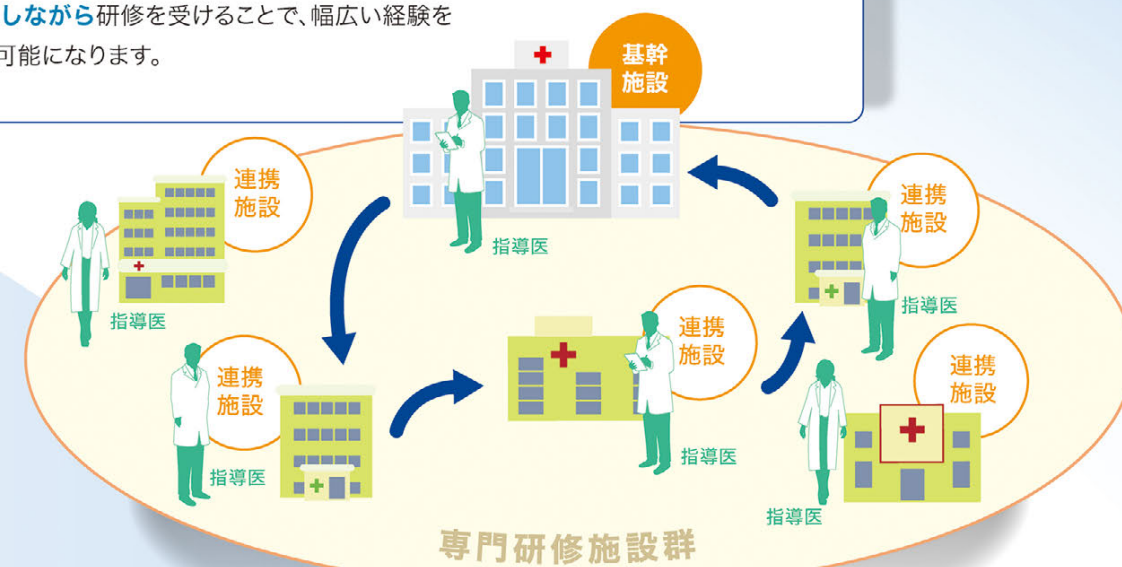
対象となるのは、原則として、2017年度以降(2018年3月以降)に臨床研修を修了した医師です。2017年度以降に臨床研修を修了した医師が旧制度で専門研修を行っても、専門医の取得はできません。

2016年度以前に臨床研修を修了し、かつ専門研修を開始していない医師は、領域により新制度での研修が可能です。

基幹施設と連携施設

専門研修は、病院単体ではなく、大学病院等の**基幹施設**と地域の協力病院・診療所等が**連携施設**として専門研修施設群を構成して実施します。

専攻医は、志望する基本領域のプログラムがある**基幹施設**に所属し、**専門研修施設群をローテートしながら**研修を受けることで、幅広い経験を積むことが可能になります。



研修スケジュール

ローテートする連携施設や時期等については、本人の希望を基に調整します。

研修スケジュールと週間スケジュールの例（総合診療専門研修の場合）

(卒後2年目)		1年目(卒後3年目)		2年目(卒後4年目)		3年目(卒後5年目)		
臨床研修	基幹施設(当院)  小児科➡救急科➡内科			連携施設  総合診療専門研修Ⅱ		連携施設  総合診療専門研修Ⅰ		●専門医の取得 ●サブスペシャリティ研修
				連携施設  総合診療専門研修Ⅰ				

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
朝	●朝カンファレンス ●チーム回診	●朝カンファレンス ●チーム回診	●朝カンファレンス ●チーム回診	●朝カンファレンス ●チーム回診	●朝カンファレンス ●チーム回診
午前	●病棟業務 ●外来(初診/再診)	●病棟業務 ●外来(初診/再診) ●初期救急当番	●病棟業務 ●外来(初診/再診)	●病棟業務 ●外来(初診/再診) ●初期救急当番	●病棟業務 ●外来(初診/再診)
午後	●病棟業務	●病棟業務 ●初期救急当番	●教授回診 ●病棟カンファレンス ●症例カンファレンス ●ジャーナルクラブ	●病棟業務 ●初期救急当番	●病棟業務
夕方	●チーム回診	●チーム回診	●チーム回診	●チーム回診	●チーム回診 ●専攻医レジデントデイ(月1回)

プログラム紹介

	基幹施設	内科、外科、小児科、精神科、麻酔科、臨床検査、形成外科、総合診療、 整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、救急・集中治療科、産婦人科、 リハビリテーション科
	基幹施設申請中	なし
	連携施設として参加	眼科、放射線科、病理、脳神経外科、皮膚科

東北医科薬科大学病院 内科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>
佐藤 賢一（消化器内科）

募集定員 35名 研修期間 3年

当院には10の内科系診療科があり、専攻医3年修了時で「研修手帳（疾患群項目表）」に定められた70疾患群のうち、通算で最低56疾患群、計120症例以上を経験し、J-OSLERに登録できる体制としています。可能な限り全70疾患群、計200症例以上の経験を目標とします。当院と県内外の連携施設をローテートすることで、希少な症例からcommon diseaseまで診療経験を積むことが可能です。
内科領域を幅広く研修する基本コース、将来の専門を見据えたSubspecialty重点コース、地域に重点を置いた地域医療コースの3コースがあり、様々な活動の場や求められる役割に応じた総合診療能力を備え、東北地方の医療を支える内科専門医を育成します。



連携施設

●東北医科薬科大学 若林病院 ●JCHO仙台病院 ●石巻市立病院 ●石巻赤十字病院 ●大崎市民病院 ●栗原市立栗原中央病院 ●栗原市立若柳病院
●気仙沼市立病院 ●広南病院 ●公立刈田総合病院 ●公立黒川病院 ●国立病院機構宮城病院 ●齋藤病院 ●蔵王町国民健康保険蔵王病院
●塩竈市立病院 ●仙台医療センター ●仙台オープン病院 ●仙台循環器病センター ●仙台市立病院 ●仙台赤十字病院 ●仙台徳洲会病院
●仙台中江病院 ●総合南東北病院 ●東北大学病院 ●東北労災病院 ●登米市立登米市民病院 ●丸森町国民健康保険丸森病院 ●美里町立南郷病院
●南三陸病院 ●みやぎ県南中核病院 ●宮城厚生協会泉病院 ●宮城厚生協会坂総合病院 ●涌谷町国民健康保険病院 ●旭川赤十字病院
●帯広第一病院 ●国立病院機構あきた病院 ●中通総合病院 ●平鹿総合病院 ●岩手県立胆沢病院 ●岩手県立中央病院 ●北村山公立病院
●国立病院機構米沢病院 ●鶴岡市立荘内病院 ●日本海総合病院 ●山形県立中央病院 ●山形市立病院済生館 ●山形大学医学部附属病院
●福島県立医科大学会津医療センター附属病院 ●いわき市医療センター ●公立藤田総合病院 ●寿泉堂総合病院 ●白河厚生総合病院
●脳神経疾患研究所附属総合南東北病院 ●総合病院水戸協同病院 ●獨協医科大学病院 ●芳賀赤十字病院 ●聖路加国際病院
●東京都健康長寿医療センター ●新百合ヶ丘総合病院 ●聖マリアンナ医科大学病院 ●大阪公立大学医学部附属病院 ●育和会記念病院 ●石切生喜病院
●和泉市立総合医療センター ●大阪市立十三市民病院 ●大阪市立総合医療センター ●東住吉森本病院 ●泉大津急性期メディカルセンター
●ベルランド総合病院 ●淀川キリスト教病院 ●浦添総合病院 ●沖縄県立北部病院 ●石巻市立病院附属杜鹿医療センター ●泉ヶ丘クリニック
●女川町地域医療センター ●公立加美病院 ●国民健康保険川崎病院 ●富谷中央病院 ●登米市立豊里病院 ●登米市立米谷病院
●奥州市総合水沢病院 ●中頓別町国民健康保険病院

東北医科薬科大学 外科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>
片寄 友（肝胆脾外科）

募集定員 35名 研修期間 3年

当院は、消化器外科、肝胆脾外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、心血管外科を有し、サブスペシャリティ領域・外科関連領域の専門医取得までシームレスな指導が可能です。低～高難易度まで豊富な手術バリエーションがあり、充実した教育体制の下、若手医師に積極的に執刀させています。
基幹施設である当院と東北地方を中心とした連携施設が研修施設群を構成し、専攻医の希望に考慮した幅広い外科研修を行うことができるプログラムです。



連携施設

●登米市立登米市民病院 ●栗原市立栗原中央病院 ●南三陸病院 ●石巻市立病院 ●塩竈市立病院 ●宮城厚生協会坂総合病院 ●赤石病院
●東北労災病院 ●東北大学病院 ●宮城県立こども病院 ●仙台赤十字病院 ●地域医療機能推進機構 仙台南病院 ●みやぎ県南中核病院
●仙台オープン病院 ●仙台徳洲会病院 ●石巻赤十字病院 ●仙台市立病院 ●仙台南生病院 ●仙台循環器病センター ●青森県立中央病院
●八戸市立市民病院 ●JA秋田厚生連平鹿総合病院 ●JA秋田厚生連大曲厚生医療センター ●公立置賜総合病院 ●日本海総合病院
●鶴岡市立荘内病院 ●北村山公立病院 ●山形済生病院 ●山形県立中央病院 ●白河厚生総合病院 ●いわき市医療センター
●一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院 ●太田西ノ内病院 ●帯広第一病院 ●岩手県立中央病院 ●岩手県立胆沢病院
●奥州市総合水沢病院 ●盛岡赤十字病院 ●自治医科大学附属さいたま医療センター ●沖縄県立北部病院 ●岩手県立釜石病院
●盛岡市立病院 ●岩手県立二戸病院 ●岩手県立久慈病院 ●岩手県立宮古病院 ●大崎市民病院 ●竹田総合病院

東北医科薬科大学 小児科専門医プログラム

<プログラム統括責任者>
森本 哲司

募集定員 3名 研修期間 3年

当院小児科は、感染症などの一般的な小児疾患や予防接種、健診も行っており、大学病院でありながらプライマリケアに必要な知識・技能を確実に修得できます。さらに、それぞれの院内指導医の専門分野（腎、神経・発達、免疫・アレルギー、遺伝・先天性疾患）では、指導医が手技から治療方針まできめ細かく指導します。また、連携施設での院外研修でその他の専門分野（内分泌・糖尿病、消化器、NICU、血液など）について専門医より指導を受けることが可能です。
本プログラムでは宮城県内の第一線の小児病院を中心に研修施設群を構成し、病院の役割や特性に応じて、専門医に必要な全ての分野を経験できます。



連携施設

●宮城県立こども病院 ●仙台医療センター ●仙台市立病院 ●仙台赤十字病院 ●JR仙台病院 ●みやぎ県南中核病院 ●石巻赤十字病院
●大崎市民病院 ●気仙沼市立病院 ●坂総合病院 ●岩手県立中央病院 ●鶴岡市立荘内病院 ●いわき市医療センター

東北医科薬科大学病院連携施設 精神科専門医研修プログラム

<プログラム統括責任者>
中川 誠秀

募集定員 5名 研修期間 3年

当院精神科は閉鎖病棟を備え、気分症、統合失調症、認知症に加え、小児精神科、緩和医療、リエゾン精神医学にも幅広く対応しています。専攻医は同じ部屋で学び、指導医との距離が近く相談しやすい環境が整っています。脳画像、漢方医学、分子生物学、小児精神科など多様な専門性をもつ指導医が在籍している点も大きな強みです。また総合病院として他科との連携が密で、身体合併症を含む実践的な精神科医療を学べます。県内外14の連携施設では医療観察法や精神科救急も経験でき、希望に応じた柔軟なローテーションで診療能力を育成します。



連携施設

●国立病院機構花巻病院 ●国立病院機構仙台医療センター ●一般財団法人東北精神保健福祉会青葉病院 ●社会医療法人あさかホスピタル
●医療法人社団愛陽会三川病院 ●医療法人博文会 市里病院 ●医療法人菅野愛生会こころのホスピタル 古川グリーンヒルズ
●医療法人菅野愛生会緑ヶ丘病院 ●社会医療法人公德会佐藤病院 ●社会医療法人智徳会未来の風せいわ病院 ●宮城県立精神医療センター
●医療法人松涛会南浜中央病院 ●岩手県立南光病院 ●東京医科大学 精神科

東北医科薬科大学病院 麻酔科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>
黒澤 伸

募集定員 4名 研修期間 4年

周術期の生体管理を中心に、救急医療や集中治療における生体管理、疼痛・緩和医療などの領域において、安全で質の高い医療を提供できる麻酔科専門医を育成します。
当院には集中治療、ペインクリニック、心臓血管麻酔の専門医が在籍し、麻酔科医としてより総合的な対応能力が高められる環境下で個人の習熟度に応じて柔軟に指導します。とりわけ当院は、心臓血管外科手術、呼吸器外科手術症例が豊富で、心臓麻酔、経食道心エコー、気管支鏡などの十分な経験を積むことができます。



連携施設

●独立行政法人国立病院機構仙台医療センター ●医療法人徳洲会仙台徳洲会病院 ●福島県立医科大学附属病院 ●いわき市医療センター
●日本海総合病院

東北医科薬科大学 臨床検査専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>
高橋 伸一郎（検査部）

募集定員 2名 研修期間 3年

臨床検査全般において、その品質の向上と維持に努め、適切で信頼性の高いサービスを通して良質で安全な患者診療に貢献できる臨床検査専門医を育成します。当院では、検査専門医（1名）による指導のみならず、地域における様々な疾患、病態と検査との関連が学べます。基本領域専門医をすでに取得済みの場合は、カリキュラム制の研修も選択できますので、他領域の専門医の方も歓迎です。様々な臨床・基礎系教室の接点となる検査部という環境を活かした研究活動も活発に行っておりますので、希望により学位取得を目指すことも可能です。



連携施設

●東北大学病院

東北医科薬科大学

形成外科研修プログラム

<プログラム統括責任者>

権太 浩一

募集定員

1名

研修期間

4年

当院の使命である「地域医療を支える医師の育成」にかなう、ジェネラリストとしての形成外科医を育成します。具体的には、顔面や手の外傷、皮膚腫瘍・皮下腫瘍、体表瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド、糖尿病性足壊疽や褥瘡といった難治性潰瘍、老化に伴う眼瞼やその周囲の機能障害や美容医療対象疾患など、形成外科の一般臨床で遭遇することの多い疾患を自ら診療・執刀できるよう指導を行います。また、研修中に形成外科の専門分野(マイクロサージャリー、手の外科、美容外科など)に興味を抱いた専攻医には、その分野のスペシャリストとなるための基礎作りと橋渡しをします。

連携施設

●東京大学医学部附属病院 ●東北大学病院 ●埼玉医科大学国際医療センター ●国保旭中央病院



東北医科薬科大学病院

総合診療専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

菅野 厚博(総合診療科)

募集定員

10名

研修期間

3年

当院の総合診療科は病床15床を有し、入院診療、一般外来診療を行っています。分院である若林病院での研修、連携施設として東北および北海道の各地域における地域の病院・診療所に勤務し、総合診療医としての幅広い診療能力だけでなく、地域の特性や実情に合わせた実践的で全人的な医療、多職種との連携、健康増進を目的とした地域住民への教育活動が行える総合診療専門医を育成します。

連携施設

●東北医科薬科大学 若林病院 ●登米市立登米市民病院 ●登米市立米谷病院 ●登米市立豊里病院 ●登米市立上沼診療所 ●涌谷町国民健康保険病院 ●石巻市立病院 ●石巻市立杜鹿病院 ●石巻赤十字病院 ●南三陸病院 ●栗原市立栗原中央病院 ●栗原市立栗駒病院 ●栗原市立若柳病院 ●女川町地域医療センター ●気仙沼市立病院 ●公立黒川病院 ●中頃別国民健康保険病院 ●猿払村国民健康保険病院 ●沖縄県立中部病院 ●緑の里クリニック ●七ヶ宿町国民健康保険診療所 ●蔵王町国民健康保険蔵王病院 ●丸森町国民健康保険丸森病院 ●公立加美病院 ●美里町立南郷病院 ●東北労災病院 ●仙台徳洲会病院 ●宮城病院 ●公立刈田綜合病院 ●仙南病院 ●おおしるファミリークリニック ●舟山病院 ●徳洲会庄内余目病院 ●長町南クリニック ●光ヶ丘スベルマン病院 ●仙台オープン病院 ●長野内科胃腸科

東北医科薬科大学

整形外科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

菅野 晴夫

募集定員

6名

研修期間

3年9か月

当院の整形外科では、外傷、脊椎外科、関節外科、手・足の外科、スポーツ整形、リウマチ、骨代謝などに注力し診療・研究を行っています。連携施設は、外傷、脊椎外科、関節外科、救急医療、手外科、小児整形など特色をもった病院があり、機能的なローテーションにより、プライマリケアから最先端の臨床・研究までを学ぶことができます。様々な専門領域の経験豊富な指導医のもと、若いスタッフが自由に腕をふるえる環境があります。総数約1万件の豊富な手術件数をもとに、専攻医の皆様には素晴らしい研修環境を提供し、個々の能力を最大限に引き出す研修を行います。

連携施設

●JCHO仙台病院 ●仙台市立病院 ●宮城県立こども病院 ●宮城県立がんセンター ●石巻市立病院 ●登米市立登米市民病院 ●栗原市立栗原中央病院 ●総合南東北病院 ●坂総合病院 ●伸裕会渡辺病院 ●呉羽総合病院 ●鶴岡市立荘内病院 ●盛岡医療センター ●奥州市総合水沢病院 ●秋田労災病院 ●青森労災病院 ●北海道整形外科記念病院 ●鹿児島共済会南風病院

東北医科薬科大学

泌尿器科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

海法 康裕

募集定員

4名

研修期間

4年

泌尿器科専門医は様々な泌尿器疾患に対する専門的知識と診療技能を持ちつつ、併存疾患にも対応でき、地域医療連携や他の専門医への紹介・転送の判断も確に行える総合的診療能力も兼ね備えた専門医です。当大学プログラムは、東北医科薬科大学病院を中心とした東北全県にまたがる診療拠点病院から構成されており、泌尿器科専門医として必要な知識や技能の習得と総合的な医療を的確に行えることを目指します。また国内・海外への学会参加も積極的に支援し、高いリサーチマインドを身に付けられるプログラムとなっています。

連携施設

●青森県立中央病院 ●八戸市民病院 ●岩手県立中央病院 ●岩手県立大船渡病院 ●JA秋田厚生連大曲厚生医療センター ●JA秋田厚生連平鹿総合病院 ●山形市立病院済生館 ●山形県立中央病院 ●公立置賜総合病院 ●気仙沼市立病院 ●大崎市民病院 ●石巻赤十字病院 ●東北労災病院 ●仙台医療センター ●仙台市立病院 ●みやぎ県南中核病院 ●いわき市医療センター ●白河厚生病院

東北医科薬科大学

耳鼻咽喉科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

太田 伸男

募集定員

3名

研修期間

4年

耳鼻咽喉科領域疾患全般において良質・安全・標準的医療を提供でき、常に最先端の医療知識を習得する姿勢を貫き、広く社会貢献する意識をもつ耳鼻咽喉科専門医を育成します。数々の臨床と研究に裏付けされたおもいやりのある医療を実践します。専門研修基幹施設および専門研修連携施設において外来症例、手術件数ともに到達目標を大きく超過する経験数が可能です。研修終了時には基本的疾患の治療に関して独り立ちしていることが前提となったカリキュラムで、いろいろな仲間と切磋琢磨しながら活躍できます。

連携施設

●東北大学病院 ●仙台医療センター ●仙台市立病院 ●東北労災病院 ●いわき市医療センター ●大崎市民病院 ●宮城県立がんセンター ●杏林大学医学部付属病院 ●東京女子医科大学病院

東北医科薬科大学病院

救急専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

遠藤 智之

募集定員

3名

研修期間

3年

本研修プログラムの目的は、「国民に良質で安心な標準的救命救急医療を提供できる」救急科専門医を育成することです。本プログラムを修了した救急科専攻医は、急病や外傷の種類や重症度に応じた総合的判断に基づき、必要に応じて他科専門医と連携し、迅速かつ安全に急性期患者の診断と治療を進めることが可能になります。また、急病や外傷で複数臓器の機能が急速に重篤化する場合には、初期治療からシームレスに根本治療や集中治療の中心的役割を担うことも可能です。さらに地域の救急医療体制の維持・発展、また災害時の対応にも関与し、地域全体の安全を維持する仕事を担うことも可能となります。

連携施設

●東北大学病院 ●仙台市立病院 ●仙台医療センター ●大崎市民病院 ●石巻赤十字病院 ●みやぎ県南中核病院 ●東北労災病院 ●仙台オープン病院 ●石巻市立病院 ●気仙沼市立病院 ●東京都立多摩総合医療センター ●鶴岡市立荘内病院 ●米沢市立病院 ●山形市立病院済生館 ●山形県立中央病院 ●公立置賜総合病院 ●日本海総合病院

東北医科薬科大学

産婦人科研修プログラム

<プログラム統括責任者>

徳永 英樹

募集定員

6名

研修期間

3年

本研修プログラムでは、医師として産婦人科医として患者から信頼される基本的な診療技術・知識を習得し、周産期、婦人科腫瘍、女性のヘルスケア、生殖医療、さらに医療過疎地における連携施設での研修により、幅広い知識・技能を持つことが可能となります。研修終了後は、東北地方の医療の担い手として働くことが出来ます。さらに専門研修後にはサブスペシャリティ領域の専門医の研修や大学院への進学する準備も整っているためシームレスにスキルアップを図ることが出来ます。

連携施設

●石巻赤十字病院 ●気仙沼市立病院 ●スズキ記念病院 ●仙台医療センター ●仙台市立病院 ●東北医科薬科大学若林病院 ●東北大学病院 ●みやぎ県南中核病院 ●宮城県立こども病院 ●いわき市医療センター ●太田西ノ内病院 ●秋田大学医学部附属病院 ●日本海総合病院 ●盛岡赤十字病院 ●米沢市立病院 ●三沢市立三沢病院

東北医科薬科大学

リハビリテーション科専門研修プログラム

<プログラム統括責任者>

小川 佳子

募集定員

2名

研修期間

3年

リハビリテーション科専門医は、障害に対する専門的治療技能と幅広い医学知識・経験を持ち、リハビリテーション医療のチームリーダーとして良質なリハビリテーション医療を国民に提供します。東北医科薬科大学リハビリテーション科専門研修プログラムは、超高齢社会や重複障害時代にあるわが国において、日々拡大していくリハビリテーション診療で、自信をもってリーダーシップを発揮できる人材を養成することを主目的にしています。専攻医は幅広い分野の経験を積めるとともに、経験豊富な指導医からきめ細かな指導を得られるような工夫をしています。

連携施設

●東北医科薬科大学 若林病院 ●坂総合病院 ●長町病院 ●仙台リハビリテーション病院 ●東北労災病院 ●東北公済病院 ●宮城県立こども病院 ●宮城県リハビリテーション支援センター ●山形市立病院済生館

07

08

専攻医の週間スケジュール

消化器内科 巽 夕夏先生

肝胆膵外科 氏原 理貴先生

月

火

水

木

金

土

日

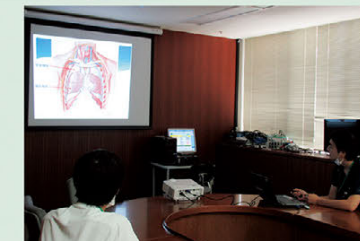
朝	朝カンファ・回診	朝カンファレンス、術前カンファレンス、回診
午前	大腸カメラ	手術、病棟業務
午後	グループごとに治療(ESD・EMR・ERCP・TACEなど)	手術、病棟業務、回診、消化器内科合同カンファレンス
夕方	科当番	手術記録記載など or 家でのんびり
朝	外勤	朝カンファレンス、術前カンファレンス、回診
午前	外勤	手術、病棟業務
午後	グループごとに治療(ESD・EMR・ERCP・TACEなど)	手術、病棟業務、回診
夕方	アニメ鑑賞	手術記録記載など or 家でのんびり
朝	朝カンファ・回診	朝カンファレンス、手術記録チェック、回診
午前	胃カメラ	病棟業務、手術あることもある
午後	グループごとに治療(ESD・EMR・ERCP・TACEなど)	病棟業務、手術あることもある、回診、多職種カンファレンス
夕方	グループ当番	外科当番
朝	朝カンファ・回診	朝カンファレンス、抄読会、回診
午前	胃カメラ	手術、病棟業務
午後	グループごとに治療(ESD・EMR・ERCP・TACEなど)	手術、病棟業務
夕方	アニメ鑑賞	外勤
朝	朝カンファ・回診	朝カンファレンス、回診
午前	胃カメラ	手術、病棟業務
午後	グループごとに治療(ESD・EMR・ERCP・TACEなど)	手術、病棟業務、回診
夕方	飲み会	来週の術前カンファレンスの準備など or 家でのんびり
	グループ当番、アニメ鑑賞	昼まで寝る、映画鑑賞、ジム、たまに自己研鑽
	友人とランチor飲み会	家事、野球、テニス、たまに自己研鑽

院内勉強会

専門医に必要な知識やスキルは非常に幅広く、専攻医にはたゆまぬ研鑽が求められます。当院は、専攻医の成長をサポートするために様々な学修の機会を設けており、院内勉強会の開催や各診療科における各種セミナー、カンファレンス、抄読会等を多数実施しています。

スキルアップセミナー	26回
CPC(臨床病理検討会)	4回
医療安全研修会	2回
保険診療・感染対策・精神科研修会	各2回
医療連携セミナー等	9回
高次脳機能障害支援センター勉強会	1回
緩和ケア研修会	1回

2025年度実績



研修FAQ

専門研修プログラムについて、よくある質問をご紹介します。

Q1

内科研修を受けようと思っていますが、サブスペシャリティをまだ決めていません。

将来の進路については、簡単に決められない人も多いでしょう。当院の内科・外科専門研修プログラムでは、大学病院ならではの充実した診療科を個々のニーズに合わせてローテートすることができます。連携施設も豊富で、県内外の病院・施設でさらに地域に密着した研修をすることも可能です。ローテートの中で幅広く経験を積みながらご自身のキャリアプランを固め、サブスペシャリティ領域までシームレスな研修が行えます。



続きはWebへ！

Q2

同時に複数の基本領域の専門研修を受けることはできますか？

同時に複数の基本領域の専門研修を受けることはできませんが、ある領域の専門医資格を取得した後に、別の基本領域の専門研修を受け専門医資格を取得すること(ダブルボード)はできます。ただし新専門医研修はプログラム制なので、別の領域に移る場合は1年目から再スタートすることになります(一部カリキュラム制もあり)。専門医資格取得という観点では、それまでの経験がリセットされ、「遠回り」や「寄り道」に感じられるかもしれません。しかし、医療の世界は奥が深く、別の分野の知識や経験も全て医師としての糧となります。最短で専門医資格を取得することだけが、ご自身のキャリアへの近道ではありません。



Q3

臨床研究に携わることは可能ですか？

アカデミックな分野へ目を向けることは、医師としてのキャリアを発展させるものです。新専門医制度では、学術活動が専門医資格取得の要件の1つとされている領域もあります。当院は、院内に臨床研究推進センターを併設し、臨床研究を支援する体制を強化しています。専攻医は、興味がある分野に関して、セミナーへの参加や国内外の学会にて発表を行い、指導医は論文執筆や学会発表を指導します。当院は、教育・研究機関であるため、レベルの高い指導が受けられます。



Q4

研修修了後の進路は？

専門研修修了後は、欠員の状況にもよりますが、引き続き当院のスタッフとしてご活躍いただくことが可能です。2023年度には、本学大学院も開学しました。もちろん、他の大学や医療機関などへの就職、開業も考えられます。それぞれのキャリアプランを尊重し、当院は全面的なサポートを行います。



About SENDAI

街がコンパクト

仙台駅周辺にPARCOやLOFTなど大型商業施設が建ち並んでいます。衣料品や雑貨、飲食店が充実し、映画館もあります。生活に必要な機能がコンパクトにまとまっていて便利です。

仙台には本格アウトレットモールもあります。国内外の有名メーカー&ブランド・セレクトショップから選りすぐりのハイクオリティ商品をアウトレット価格で提供しています。

秋保温泉・秋保大滝

仙台には海も山も温泉もあります。



イベント盛りだくさん

春は青葉まつり、夏は仙台七夕まつり、秋はジャズフェスティバル、みちのくYOSAKOIまつり、冬はSENDAI光のページェント。四季折々のイベントがあり楽しめます。

レジャーが充実

スキー・スノーボード、登山、ゴルフ、温泉、サーフィン、海水浴、釣り、バーベキュー、芋煮会などレジャーが充実しています。車で気軽に行ける距離にキャンプ場やグランピング施設もあり、アウトドア好きの方には最高の環境です。





自分自身の将来へ投資しよう！

東北医科薬科大学病院は設立10周年の若い大学病院ですが、588床・32専門診療科には経験豊富な指導医が数多く在籍し、「忠恕(ちゅうじょ)＝真心を尽くし思いやりの心で務める」の精神のもと、common diseaseから希少疾患まで幅広く診療を行っています。14の専門研修プログラム、および複数のサブスペシャリティ研修の基幹施設であり、東北6県の大学や日本全国の研修施設と強固に連携し、豊富な症例数を確保しています。

当院の専門研修には、3つのコアメリットがあります。

1つ目は「地域枠医師への最大限の配慮」です。東北の地域医療を担う人材育成という理念に則り、それぞれの地域枠のルール内でも希望する専門医資格が取得できるよう全力で支援します。

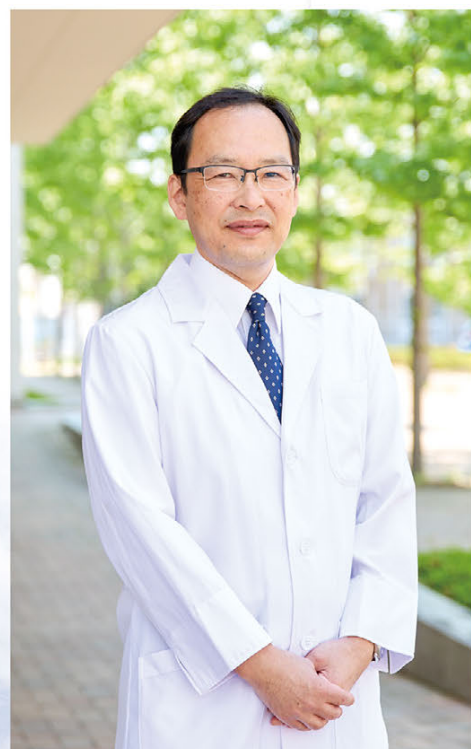
2つ目は「リサーチマインドの醸成と大学院進学」です。診療のイロハを学ぶだけでなく科学的に思考するトレーニングを重視し、研修期間中の大学院進学も後押しします。

3つ目は「進化を続ける圧倒的なフィールド」です。今後は救命救急センター(三次救急)の稼働や特定機能病院化を見据えており、皆さんが主役として活躍できる舞台はさらに広がります。

専門研修の3～4年間は、将来それぞれの道で飛躍するための最も重要な「土台作り」の時期です。当院の充実したプログラムを通して、自分自身に磨きをかけてみませんか？あなたにしか歩めない、進むべき路がきっとここで見つかります。

Dr. Shunsuke Kawamoto

川本 俊輔 東北医科薬科大学病院 病院長



幅広い医療に対応できる専門医を育成します

東北医科薬科大学病院は、仙台駅から車で約15分の距離に位置し、市中心部へのアクセスが良好な、落ち着いた住宅街にあります。仙台市をはじめ近隣自治体より広く患者さんを受け入れています。

当院の前身である東北厚生年金病院は、1982年よりこの場所で地域の医療を支えてきました。その後、2013年に東北薬科大学の附属病院に、そして、2016年にわが国37年ぶりの医学部が新設されたことで、東北医科薬科大学病院として新たなスタートを切りました。2019年にはハイブリッド手術室や手術支援ロボット da Vinciなどを備えた本院に併設する新病棟が完成しています。現在は、32の診療科と588床の病床を有し、300名を超える医師が在籍する大学病院として機能しています。当院は地域の中核病院をベースとした大学病院という背景があり、common diseaseから希少疾患まで、地域医療から専門医療まで幅広い症例・医療を経験できるというメリットがあります。さらに、令和5年度に大学院が開校され、学位取得を見据えながら専門プログラム研修を行うことができます。

当院は、これまで地域医療へ果たしてきた役割をさらに強化・充実させるとともに、地域医療に貢献できる優秀な医師を育成、さらには、高度医療や研究にも力を注ぎながら、大きく成長していくことを目指します。我々と共に成長してゆく専攻医の皆さんをお待ちしています。

Dr. Morihisa Hirota

廣田 衛久 東北医科薬科大学病院 卒後研修支援センター長



大学病院棟は、ハイブリッド手術室、バイオクリーンルームを含む手術室9室のほか、高性能の機器を備えた放射線治療室や画像診断室等を有しており、高度で先進的な医療の提供が可能です。
また、メディカルトレーニングセンターでは、より安全な医療を提供するための様々な技術トレーニングが行われています。



医療設備 最新鋭の医療機器で低侵襲治療を実現



ハイブリッド手術室



放射線治療装置(リニアック)



血管撮影装置(パイプライン型)



ガンマカメラ装置



CT装置



MRI装置



手術支援ロボット da Vinci

東北医科薬科大学病院

〒983-8512
宮城県仙台市宮城野区福室1丁目12番1号
TEL:022-259-1221(代表)

【病院長】 川本 俊輔

【病床数】 一般病棟 542床 精神病棟 46床 計588床

【前身】 1946年 5月 宮城第一病院

1982年10月 新築移転、東北厚生年金病院へ改称

2013年 4月 東北薬科大学病院へ移行・名称変更

2016年 4月 東北医科薬科大学病院へ名称変更



診療科

【内科系診療科】

総合診療科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腫瘍内科、
糖尿病代謝・内分泌内科、腎臓・高血圧内科、脳神経内科、感染症内科、
血液・リウマチ科

【外科系診療科】

呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、肝胆膵外科、乳腺・内分泌外科

【その他の診療科】

脳神経外科、整形外科、形成外科、精神科、小児科、皮膚科、泌尿器科、
産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、がん治療支援(緩和)科、リハビリテーション科、
放射線科、病理診断科、救急・集中治療科、麻酔科、歯科口腔外科

職場環境

■専攻医・研修医室

専攻医・研修医専用です。

個々のデスクがあり、
電子カルテも
設置されています。



■借上住宅

1K・ウォークインクローゼット付、
トイレバス別で快適。
セキュリティも万全なので安心です。



■カフェテリア



職員構成

2026年4月1日 現在

職 種	合計職員
医 師	215名
専攻医	63名
臨床研修医	29名
歯科医師	4名
薬剤師	51名
医療技術職	205名
看護職	640名
福祉職	13名
事務員	90名
技能職	28名
合 計	1,338名

■ぶくぶく保育園

夜間保育も行っており、子育てをしながら
安心して仕事を続けることができます。
※法人教職員利用可



■ローソン



専攻医 募集要項 抜粋

身 分	常勤嘱託職員
給 与 ・ 賞 与	専攻医1年目 基本給 417,000円程度／月 専攻医2年目 基本給 424,000円程度／月 専攻医3年目 基本給 431,000円程度／月 専攻医4年目 基本給 439,000円程度／月 専攻医5年目 基本給 446,000円程度／月 賞与 年2回(夏季6月、冬季12月) 給与規程に基づき支給
各 種 手 当	通勤・賃貸・超過勤務等
勤 務 時 間	1月単位の変形労働時間制(交替制) 主たる勤務時間 日勤8:30～17:15、夜勤16:00～翌日9:00 就業規則に基づき実施
休 日 ・ 休 暇	1月単位の変形労働時間制(交替制)による、週休2日制 年次有給休暇 法定に基づき付与
年 金 ・ 保 険	私学共済、雇用保険、労災保険加入

関連学会等による研修指定・認定

学会名および認定機関	施設認定名称
日本病院総合診療医学会	日本病院総合診療医学会認定施設
日本認知症学会	日本認知症学会専門医教育施設
日本老年医学会	日本老年医学会認定施設
日本皮膚科学会	日本皮膚科学会認定専門医研修施設
日本精神神経学会	日本精神神経学会精神科専門研修プログラム基幹施設
日本外科学会	日本外科学会外科専門医制度修練指定施設
日本整形外科学会	日本整形外科学会整形外科専門医研修施設
日本眼科学会	日本眼科学会専門医研修施設
日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会	日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
日本泌尿器科学会	日本泌尿器科学会専門医拠点教育施設
日本麻酔科学会	日本麻酔科学会認定病院
日本病理学会	日本病理学会認定施設
日本救急医学会	日本救急医学会救急科専門医指定施設
日本リハビリテーション医学会	日本リハビリテーション医学会研修施設
日本消化器病学会	日本消化器病学会認定施設
日本循環器学会	日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
日本不整脈心電学会	日本不整脈心電学会認定不整脈専門医研修施設
日本高血圧学会	日本高血圧学会高血圧認定研修施設
日本呼吸器学会	日本呼吸器学会認定施設
日本糖尿病学会	日本糖尿病学会認定教育施設I
日本腎臓学会	日本腎臓学会認定教育施設
日本肝臓学会	日本肝臓学会認定施設
日本腎臓学会	日本腎臓学会認定指導医制度指導施設
日本アレルギー学会	日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設(耳鼻科、呼吸器内科)
日本アレルギー学会	日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設(小児科、皮膚科)
日本感染症学会	日本感染症学会認定研修施設
日本神経学会	日本神経学会認定教育研修施設
日本消化器外科学会	日本消化器外科学会専門医制度指定修練施設
日本呼吸器外科学会	呼吸器外科専門医合同委員会専門医研修基幹施設
日本リウマチ学会	日本リウマチ学会教育施設
日本集中治療医学会	日本集中治療医学会専門医研修施設
日本消化器内視鏡学会	日本消化器内視鏡学会指導施設
日本超音波医学会	日本超音波医学会認定超音波専門医研修基幹施設
日本核医学会	日本核医学会専門医教育病院
日本臨床腫瘍学会	日本臨床腫瘍学会認定研修施設(連携施設)
日本総合病院精神医学会	日本総合病院精神医学会特定研修施設
日本脳卒中学会	日本脳卒中学会研修教育施設
日本臨床細胞学会	日本臨床細胞学会認定施設
日本乳癌学会	日本乳癌学会認定施設
日本透視医学会	日本透視医学会認定施設
日本呼吸器内視鏡学会	日本呼吸器内視鏡学会認定施設
日本胆道学会	日本胆道学会認定指導医制度指導施設
日本動脈硬化学会	日本動脈硬化学会認定専門医認定教育施設
日本がん治療認定医機構	日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本心臓血管麻酔学会	日本心臓血管麻酔学会心臓血管麻酔専門医認定基幹施設
National Clinical Database	NCD(National Clinical Database)参加施設
日本医療薬学会	日本医療薬学会医療薬学専門薬剤師研修施設
日本緩和医療学会	日本緩和医療学会認定研修施設
日本肝胆膵外科学会	日本肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設B
日本婦人科腫瘍学会	日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設A

指定医療

地域医療支援病院	高次脳機能障害支援拠点病院
臨床研修病院	宮城DMAT指定病院
地域がん診療連携拠点病院	仙台市認知症疾患医療センター指定病院
救急告示病院	宮城県難病地域拠点病院
災害拠点病院	ISO 15189 認定検査室

専門資格 (2026年4月1日現在)

認定資格名	認定機関	有資格者数
臨床研修指導プログラム責任者講習会受講者	厚生労働省	3名
臨床研修指導医養成講習会受講者	厚生労働省	146名
認定内科医	一般社団法人日本内科学会	64名
総合内科専門医	一般社団法人日本内科学会	49名
プライマリ・ケア認定医	一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会	2名
外科専門医	一般社団法人日本外科学会	37名
小児科専門医	公益社団法人日本小児科学会	4名
精神科専門医	公益社団法人日本精神神経学会	4名
麻酔科専門医	一般社団法人日本専門医機構	6名
臨床検査専門医	一般社団法人日本専門医機構	1名
臨床検査管理医	一般社団法人日本臨床検査医学会	2名
形成外科専門医	一般社団法人日本形成外科学会	2名
整形外科専門医	公益社団法人日本整形外科学会	7名
泌尿器科専門医	一般社団法人日本泌尿器科学会	5名
耳鼻咽喉科専門医	一般社団法人日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会	5名
認定皮膚科専門医	公益社団法人日本皮膚科学会	1名
呼吸器専門医	一般社団法人日本呼吸器学会	6名
循環器専門医	一般社団法人日本循環器学会	15名
消化器病専門医	一般社団法人日本消化器病学会	21名
消化器内視鏡専門医	一般社団法人日本消化器内視鏡学会	9名
糖尿病専門医	一般社団法人日本糖尿病学会	5名
がん薬物療法専門医	公益社団法人日本臨床腫瘍学会	4名
腎臓専門医	一般社団法人日本腎臓学会	6名
透視専門医	一般社団法人日本透視医学会	5名
神経内科専門医	一般社団法人日本神経学会	9名
感染症専門医	一般社団法人日本感染症学会	5名
ICD(infection Control Doctor)	ICD制度協議会	10名
呼吸器外科専門医	日本呼吸器外科学会	4名
消化器外科専門医	一般社団法人日本消化器外科学会	18名
心臓血管外科専門医	3学会構成心臓血管外科専門医認定機構	9名
脳神経外科専門医	一般社団法人日本脳神経外科学会	2名
血液専門医	一般社団法人日本血液学会	5名
リウマチ専門医	一般社団法人日本リウマチ学会	5名
産婦人科専門医	公益社団法人日本産科婦人科学会	6名
眼科専門医	公益財団法人日本眼科学会	6名
救急科専門医	一般社団法人日本救急医学会	4名
放射線診断専門医	公益社団法人日本医学放射線学会	6名
放射線治療専門医	公益社団法人日本医学放射線学会	1名
病理専門医	一般社団法人日本病理学会	3名
認定産業医	日本医師会	20名